



ワンポイント 家庭菜園



ダイコンの 育て方



ダイコンはアブラナ科の野菜で、原産地は地中海沿岸や中央アジア。別名「すずしろ」春の七草の一つとしても知られています。

(1) 生育に適した環境

発芽適温は15℃～30℃、生育適温は15℃～20℃
で、pH5.5～6.8の砂壤土を好みます。

(2) 畑の準備

播種2週間前までに、1㎡当たり苦土石灰100gを散布し、よく耕します。1週間前に1㎡当たり化成肥料(8-8-8)100g程度施用し、深く耕し、ていねいに砕土して土を膨軟にします。

(3) 播種

8月下旬～9月上旬に、畝幅1m、条間35cm、株間30cm2条点播き、1か所4～5粒播き、覆土は1cm位とします。



播種前は十分かん水しましょう。ネキリムシなどの予防のため、殺虫剤を散布すると良いでしょう。早播きの場合は、高温による乾燥と虫害を防ぐため、20～25日を目安に寒冷紗で被覆すると良いでしょう。30日以上になると軟弱徒長になるので、注意が必要です。

(4) かん水

日中の高温時はできるだけかん水を控えま

(5) 間引き

1回目…子葉が展開した頃3～4本立ちにします。



子葉がハート型のものを残します。

2回目…本葉が2～3枚の頃、2～3本立ちにします。

3回目…本葉4～5枚の頃、1本立ちにします。



生育不良、

病害虫に侵されて、葉及び胚軸の濃いもの、淡いものを間引きましょう。



(6) 追肥

間引き終了後、1㎡あたり硫安5g程度施用します。また、播種後20～25日頃1㎡あたりNK化成20g程度、30～35日頃1㎡あたりNK化成25g程度、40～45日頃1㎡あたりNK化成25g程度の追肥を行います。



追肥が遅れると根部の肥大が悪く、曲がりの発生も増えます。適期追肥を心がけましょう。また、葉焼けを防ぐため、追肥後はかん水し、葉に付着した肥料を落としましょ

(7) 収穫

品種により収穫時期は異なりますが、収穫が遅れると裂根や老化によるす入りが発生しやすくなりますので、適期収穫に努めましょう。

(文責 金沢農業大学校長 大藏 捷直)

農業大学校の様子



トマトの播種作業

秋作の準備が始まっています。トマトの播種、接木と基本的な栽培技術の習得に励んだ後、ダイコンの栽培にも取り組む予定です！